

■サウジアラビア・韓国：サウジアラビア、韓国と SMR で協力覚書を締結

サウジアラビアの「アブドラ国王原子力・再生可能エネルギー都市（K.A.CARE）」と、韓国の科学技術情報通信部（MSIT）は 2019 年 9 月 17 日、原子力研究開発に関する包括的協力覚書を締結した。この覚書に基づき韓国は、韓国製小型モジュール炉（SMR）である SMART 炉のサウジアラビアにおける許認可取得、建設、運転に協力し、さらに両国は中東および東南アジア諸国への同炉の展開を推進する。また K.A.CARE と MSIT は、2019 年 12 月末までにサウジアラビアに原子力共同研究センターを設立する協定も締結した。SMART 炉は熱出力 33 万 kW（電気出力 10 万 kW）の PWR で、蒸気発生器が原子炉圧力容器に内包され、進化した安全性能を有する。60 年の設計寿命、3 年毎の燃料交換サイクルで、海水淡水化等への熱利用も可能である。